

知多市私のきもちをつなぐシート（ACP 連携シート）の活用方法

1. 「知多市私のきもちをつなぐシート」とは

ACP の情報を把握している療養者が入院する場合、ケアマネジャーや訪問看護師等が、その情報を病院に伝え、本人のきもちをつないでいくためのシートです。

人のきもち環境や体や心の調子によって変化します。その揺れ動くきもちに寄り添い、医療・介護関係者で本人のきもちを積極的にキャッチし、本人の意思決定を尊重し、つないでいくことができるツールとなればと思います。

2. 入院時の「知多市私のきもちをつなぐシート」の活用

ケアマネジャー・訪問看護師等が、療養者の ACP 情報を把握している場合は、「知多市私のきもちをつなぐシート」を記入して、入院時に医療と介護の連携シートや看護サマリーと一緒に病院へ提出してください。

(1) 「知多市私のきもちをつなぐシート」の記入方法

記入日：療養者から話を聞いた日付を記入してください。

きもちが変わった時は、新たに日付を記入し、書き直す。

記入者名：話を聞いた人の氏名を記入してください。

その他：把握している情報を記入してください。シートを全部記入する必要はありません。

(2) 提出先

各病院の入院時に情報提供する窓口

(3) 提出方法

FAX、梅子ネット等



3. 退院時の ACP 連携

入院時に[知多市私のきもちをつなぐシート]が提出されている時や病院が療養者の ACP 情報を把握している時は、[知多市私のきもちをつなぐシート]に記入するか、情報提供書に記入し、ケアマネジャー・訪問看護師等に提出してください。

【人生会議】ACP（アドバンスケアプランニング）とは

もしもの時に備え、自身が望む医療・介護について前もって考え、ご家族や医療・介護支援チームと繰り返し話し合い、共有する取り組みです。

「誰もが自分らしく最期まで安心して住み慣れた地域でいきいきと暮らすため」に専門職による意思決定支援が必要となります。このシートをきっかけに本人のきもちを聞いて、医療・介護関係者で共有しませんか。